

小学校 第1学年

A表現(1)アイ B鑑賞(1)ア

題材名

でこぼこ はっけん！
うつしたかみから



実践校
大垣市立東小学校
授業者 箕浦 希生
実践時期 2学期
全4時間

つながりを生かす

- 「もの」とのつながりについては、普段、目にしているものを、「はっけん」や「みつける」という言葉で、自分の身の回りにある形に目を向け、うつしとる行為を通して、「もの」と積極的に関わる態度を育てたい。
- 「ひと」とのつながりを大切にし、うつしとった「もの」を、仲間と見せ合ったり、仲間の感じ方に触れたりすることを通して、その面白さに気づき、新しい形を見付けたり、見付けた形から自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 「ちから」とのつながりについては、造形遊びをする活動を通してできた「もの」を材料として活用し、思いのままに発想や構想を繰り返す、技能を働かせながらつくり出すため、教科書の題材をつないで構成した。

題材の流れ

第1・2時 でこぼこはっけん

校舎内ででこぼこを探す活動を通して、身近な材料や用具に手や体全体で向かい合い、面白さやよさを感じるようにした。でこぼこを写し取る活動では、1人5種類以上の模様を、それぞれ違う色のクレヨン・パスを使って写し取った。用紙は、B4コピー用紙を使用した。

こんなところにこんな綺麗な模様があったなんて。



第3・4時 うつしたかみから

様々な「でこぼこ」な場所や物からこすり出した形(模様)から感じたことを生かし、資料や仲間の意見を参考にしたり試したりしながら、自分が想像した生き物を作ることができる。

つくっているもの、思いついたものを言葉にして考えることによって、完成形をイメージし、作りたいものを明確にした。また、教師の作例を提示し、模様を一つ一つ切っていることや、重ねて貼っていることなど、細かい部分の工夫に着目できるようにした。作品完成後に、活動を振り返り、工夫したところを交流した。

ポイント1

「はっけん」「みつける」という言葉で主体的な活動を促す。事前に校内の活動可能な場所を確かめておく。
その際、安全に十分留意した

どんなものをつくろうかな。色々な模様を並べてみよう。
この模様はへび柄に見えるから、へびをつくろう。

ポイント2

写した形から、思い付くことができるように「何に見えてきたかな。」「次はどんな形を使うのかな。」などと形に焦点をあて、発想が広がるような言葉かけを大切にした。

作品例



授業を終えて

校舎内で、でこぼこを見付ける活動は、普段気が付かない場所に思いがけない美しい模様が潜んでいるということに気が付くことができ、よい活動となった。写した模様からさらに作品をつくっていくことで、自分の模様をしっかりと観察することができ、新たな発見をすることができた。どのような生き物をつくればよいのか分からない児童に対して、同じ模様を使っている児童との交流を促したことで、児童が、同じ模様からの発想の広がりを感じ、自分の作品に取り入れることができたのでよかった。